

# 南逆井地域グランドデザイン〈概要版〉

〈まちづくり方針〉

令和3年3月

## 1 はじめに

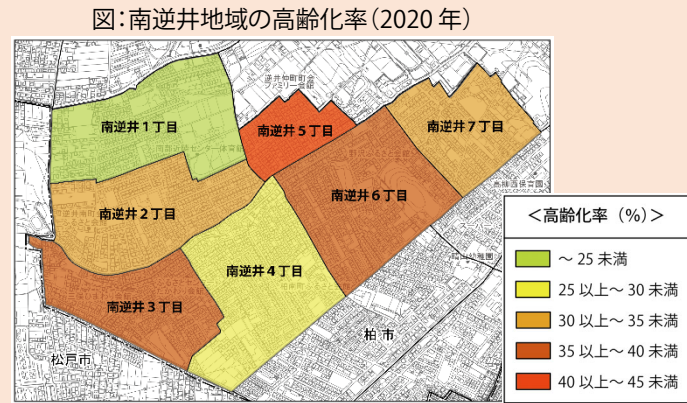
南逆井地域は、小規模な住宅開発が連続することにより住宅街が形成されてきた結果、住宅が建て詰まり、狭あい道路や行き止まり道路が多く見られ、日常生活の安全・安心が確保しづらい地域となっています。

こうした課題を解消し、今後人口減少が本格化する時代に向けて、将来にわたって誰もが“住みたい・住み続けたい”まちにしていくための指針として「南逆井地域グランドデザイン」を策定し、まちづくりを推進します。

## 2 南逆井地域の現状

前述のとおり、狭あい道路等が多いため、歩行者・自動車どちらにとっても、安全に通行することが難しい現状となっています。また、路線バス等が入ってくることも困難なことから、公共交通の空白不便地域となっています。行き止まりも多く、災害時に、避難経路が閉ざされてしまう危険性もあります。

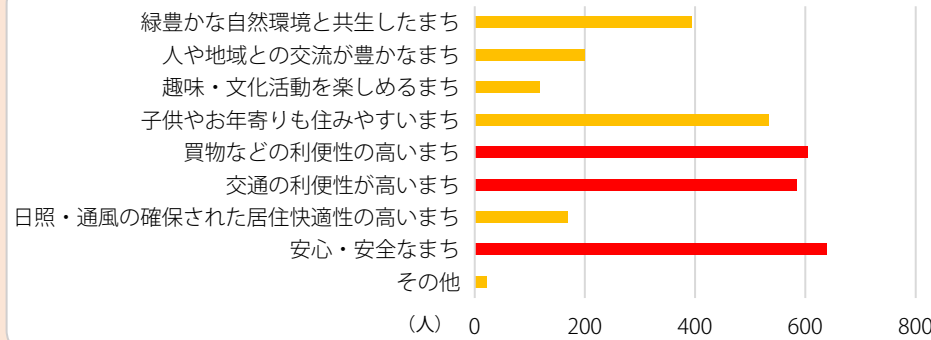
地域の人口は、概ね20年先の2040年では約7,700人と推計され、約1,400人減少する見込みであり、人口減少・少子高齢化が進行することが想定されます。



## 3 地元の意向

平成30年から実施したアンケート調査において、地域の将来像として多くの皆さんが「買い物などの利便性の高いまち」「交通の利便性が高いまち」「安全・安心なまち」の3つを挙げました。「買い物」や「交通」の利便性としては、空き地を活用した移動販売等により地域内の利便性向上を図ることや、コミュニティバスや買い物バスといった、地域内外へ向かうための手段等を確保していく必要があります。また、「安全・安心なまち」としては、日常の買い物や通学・通勤時に安心して歩けることに加え、空き家・空き地の活用や防犯対策、災害時の避難路の確保・延焼の防止等の防災対策等が求められています。

問：南逆井地域が将来どんなまちになってほしいと思いますか。



## 4 地域の課題・将来見込み

【課題1】道路環境が整っていないため、安全性や交通利便性が悪い

【課題2】今後増加が想定される空き家や空き地の上手な利活用

【課題3】商業施設等の立地が少なく買い物の利便性が悪い

課題に対して何もしないと・・・

- ✓ 公共施設等の整備を公費で補うには限界
- ✓ 災害時の避難経路が確保できるのか不安
- ✓ まちのにぎわいや魅力の低下
- ✓ 高齢者等の日常の交通手段の不足

こうした課題を解決するために、地域住民・行政・事業者などが一体となってまちの将来を考え、行動していくことが重要

## 5 まちづくりの基本理念、視点・目標、アクション

本地域における現状や課題、将来見込みを踏まえて、次のとおり「まちづくりの基本理念」と、3つの「視点」に基づく6つの「目標」、5つの「アクション」を掲げます。

### 〈基本理念〉

地域の資源を活用し多世代が住みやすいまちの実現

協働で持続できる地域へ

### 〈視点・目標〉

#### 視点1 安全な道路環境をつくる

目標1：人にも車にもやさしい  
メインストリートに

地域のメインストリートとなる東西の道では、空き地を活用した拡幅等により、歩行者の待機空間、車のすれ違い空間を創出し、安全な通りづくりを目指します。

目標2：譲り合えるまちかどに

ミラーや信号の設置、空き地の活用等により、見通しがよく安全な交差点を整備していきます。歩行者も自動車もお互いをよく見て、譲り合えるまちかどを目指します。

#### 視点2 災害に対応できる環境を整える

目標3：行き止まりを安全な抜け道に

買い物や通学時の遠回りを減らすだけでなく、災害時の避難路の確保、公園や避難所への安全に抜けられるように、地域内に点在する行き止まりを空き地等でつなげていくことで解消を目指します。

目標4：オープンスペースを  
地域に必要な施設や広場に

空き地や空き家などのオープンスペースについて、持ち主と協働して、地域のにぎわいや日常の利便性向上のためや、火災の延焼防止や災害時の一時的な避難スペース、普段は子どもたちの遊び場などとして地域に貢献できる様々な活用を図ることを目指します。

#### 視点3 買い物の利便性を高める

目標5：買い物に行きやすいまちに

地域内を細やかに回り、地域の足となる手段(ジャンボタクシー、買い物チャトルバス等)を確保し、地域の商店や移動販売、近隣のスーパー等に気軽に行ける環境を目指します。

目標6：地域の外に出かけやすい道に

空き地を活用した見通しの良い曲がり角や、安全にすれ違えるスペースを創出し、買い物や通院・通学等、地域の外に出かける際に安全に歩ける道の整備を目指します。

### 〈アクション〉

#### アクション1 よけみち



狭いけれど車も人もたくさん通る場所を安全に通れる道に



#### アクション2 めけみち



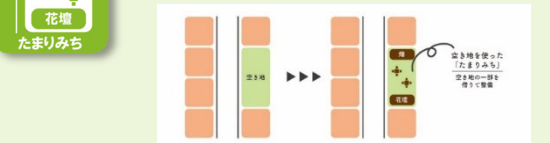
行き止まりが多い場所でも、災害時の避難路や、買い物への近道



#### アクション3 たまりみち



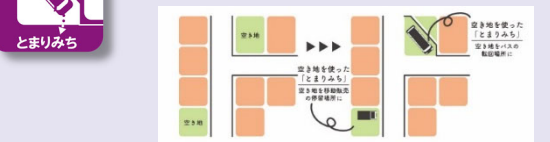
オープンスペースを、遊べたり、おしゃべりしたりする地域の憩いの場に



#### アクション4 とまりみち



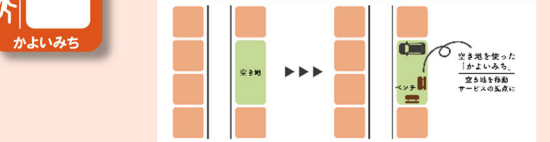
ちょっとした空き地を移動販売車などが停まれるスペースに



#### アクション5 かよみち



目的地に向かうルートに「かよみち」を設け移動サービスの拠点に





【6つの目標・アクション】

目標1	人にも車にもやさしいメインストリートに	
目標2	譲り合えるまちかどに	
目標3	行き止まりを安全な抜け道に 抜け道による防災性の向上	
目標4	オープンスペースを地域に必要な施設や広場に 市有地の有効活用	
目標5	買い物に行きやすいまちに	
目標6	地域の外に出かけやすい道に	

【凡例】

- グランドデザイン計画範囲
- 公園・広場
- 目的地となる商業施設
- 地域外への買い物の交通利便性向上
- 鉄道駅
- 鉄道路線
- 市界
- 字界